

5月9日 家族らに囲まれ誕生日を祝う

## 六日町の及川ハル子さん100歳

ハル子さんの100歳を祝う会が開かれ、家族らが祝福しました。ハル子さんは大正8年に同町で生まれ、師範学校卒業後に金治さん(故人)と結婚。市内の小学校で長年教壇



100歳の祝福を受けるハル子さん

に立ったほか、県や市の戦没者遺族会の運営を支えました。現在は、息子夫婦と2人の孫と一緒に、自宅で穏やかに過ごしています。

5月7日 水源と森林の環境学習

## 遠野の水源地に植樹

綾織小学校の3・4年生28人は、環境学習の一環として琴畑川上流の国有林地内にミズナラの苗60本を植樹しました。同校の植樹は初で、岩手南部森林管理署遠野支署とN



力作もへっちゃら！ 一生懸命な児童

P O法人遠野エコネットの指導のもと実施。児童は、遠野の上水道の水源地を守ろうと一生懸命作業し、シカの食害対策カバーを設置して苗木の成長を願いました。

4月29日 J R釜石線「S L 銀河」運行再開 5周年

## 黒煙なびかせ S L 銀河が Go !

J R東日本による S L 銀河の定期運行(花巻一釜石間)が再開されてから 5 周年を迎え、宮守駅と遠野駅で市民によるお出迎えが行われました。郷土芸能やカントリーダンス



下郷さんと踊りが華やかにお出迎え

の披露、ざしきわらし隊などが S L 銀河と乗客を歓迎。ひつみの振る舞いや S L と馬の並走イベントも行われ、乗客を楽しませました。

4月26日 老人保健施設とおでのお祝い会

## 土淵町の菊池サネさん100歳

サネさんの100歳を祝う会は同所で開かれ、家族や職員らが祝福しました。6人きょうだいの三女として宮古市で生まれたサネさんは、土淵町の栄さん(故人)と結婚。農業



家族らから祝福されるサネさん(中央)

で生計を立て、子ども3人を育て上げました。現在は、孫・ひ孫・玄孫27人に恵まれ、同所に通いながら自宅で元気に過ごしています。

5月12日 遠野市消防演習

## 新時代のまちを守る気概新たに



1\_ 統率のとれた分列行進を披露する団員ら 2\_ 消防団の各分団が結集し、放水訓練を披露しました 3\_ 手際よくポンプ操作を披露する宮守小少年消防クラブ員

消防演習は、早瀬川緑地公園などで行われ、団員や婦人消防協力隊員、少年消防クラブ員ら総勢549人と消防車両61台が集結しました。各種訓練では、小隊訓練や放水訓練、ラッパ隊によるドリル演奏などが披露されたほか、宮守小学校少年消防クラブ員の5人が、放課後に練習してきた軽可搬ポンプ操作を披露。参加者は訓練を通じ、防火・防災意識を高め、地域を守る気概を新たにしました。

5月10日 春の全国交通安全運動・地域安全運動出発式

## 願い込め、安心安全な地域を

両出発式はあえりあ遠野で行われ、市交通指導隊や市防犯隊員ら約120人が出席し、交通安全・防犯活動への決意を新たにしました。式では新1年生を代表して阿部謙介



新1年生に啓発グッズが贈られました

君と佐々木夢姫さん(いずれも青笹小)が黄色い帽子など、啓発グッズを受領。2人は「交通事故に気を付けます」などと元気に誓いました。

5月22日 家族とともに長寿を祝う

## 下組町の鈴木ノブさん100歳

家族らに囲まれ、ノブさんの100歳を祝う会が開かれました。秋田県出身のノブさんは、同県出身で、鉄道の工事などを行う職人だった健蔵さん(故人)と結婚。夫の転勤



記念品を受け取るノブさん

と一緒にノブさんも全国各地で働きながら、2男3女を育て上げました。現在は、孫7人に恵まれ、自宅で穏やかに過ごしています。

5月7日 遠野ホストタウン交流プロジェクト2019

## 世界とつながる交流、始動！

ホストタウン交流の取り組みを市内外に発信することを目的とした同プロジェクトが、市民センター集会所で行われ、中高生ら約30人が参加しました。東京2020組織委員



実演を交えながら熱弁する榎田氏(右)

会経済・テクノロジー委員の榎田竜路氏が、地域の魅力をいかに引き出すか講演。今後は、8回程のプロジェクトの中で、映像やポスター制作に取り組む予定です。

4月29日～5月17日 上皇上皇后両陛下記念写真展

## 両陛下のご来遠を振り返る

上皇上皇后両陛下が本市に立ち寄られた際の写真が、市役所本庁舎多目的市民ホールと道の駅遠野風の丘に展示されました。同写真展は、天皇在位30年および御歌碑建立記



両陛下の写真を見つめる来場者

念ならびに改元への祝意を表すもので、これまでのご来遠で市民の歓迎に応えられる様子など約40点を展示。写真は今後、市内の施設などで活用される予定です。

4月27・28日 平成・南部藩南部氏ゆかり領民交流事業&南部氏遠野入部行列

## 南部氏のルーツをたどる

同交流事業は、2日間、市内各所で初開催されました。南部氏にゆかりのある市内外10の自治体で構成する「平成・南部藩」の住民約50人が参加。南部藩の歴史について学び、交流を深めました。市立図書館で八戸南部氏や清心尼公と遠野の関わりについて学んだ後、市内のゆかりの地を見学。一行は、28日、南部氏遠野入部行列にも加わり、当時の様子を体験。今年で19回

目の同行列は、蔵の道広場周辺で行われ、市民ら総勢200人が参加。約400年前に八戸南部氏が遠野に入部した様子を再現しました。沿道には多くの市民や観光客が訪れ、歴史絵巻さながらの様子を楽しみました。

1\_ 入部行列参加者は、着物や袴を身にまとい当時を再現！ 2\_ 交流事業では、約400年前に遠野の礎を築いた清心尼公の碑を訪れました 3\_ 入部行列を彩った遠野保育園児

